



■成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	デジタル技術を活用した講座の開催数	回	8	R2	1	6	15	20
2	図書館入館者数	人	61,500	R2	90,583	276,338	277,347	230,000
3								
4								
5								
6								
7								
8								

■市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 生涯学習講座が充実している	重要度 0.81	0.85	0.96	生涯学習講座の充実に係る満足度以外、いずれの調査項目においても令和2年度調査時よりも重要度・満足度が向上している。コロナ禍を経験したことによる学びへの意識の変容と新図書館の開館が、市民の生涯学習に対する意識の高まりにつながっているものと考えられる。
	満足度 0.15	0.23	0.15	
2 公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度 0.68	0.75	0.70	
	満足度 0.04	0.07	0.10	
3 図書館が充実している	重要度 0.91	1.07	1.04	
	満足度 ▲ 0.14	0.90	0.78	
4	重要度			
	満足度			

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 地域課題の解決に生かせる学びの展開	第2期かめやま人キャンパスを開催するとともに、第1期かめやま人認定者を支援し、人材育成を展開している。今後更なる学びの循環による人材育成を展開していく。
② 新図書館を核とした読書活動・市民活動の推進	ボランティア等の協力を得て、市民の読書活動を推進した。きめ細やかな図書館サービスの提供と環境整備により、交流の場となる、利用しやすい図書館づくりを推進した。
③ 誰もが学べる環境づくり	学びの情報を一元化した学びのガイドブックの発行や中央公民館講座等の開催により、市民に学びの機会を提供した。今後も学びの機会の充実を図っていく。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

地域課題の解決に生かせる学びの展開・誰もが学べる環境づくりでは、中央公民館活動事業において、地域のニーズに沿った講座を実施することにより、市民の自発的な学びにつなげることができた。また、第2期かめやま人キャンパス展開事業を起点として、YouTube Live などデジタル技術を活用した講座を実施したことにより、学びの環境の充実につなげられ、誰もが参加できる学びの場とすることができたほか、地域のデジタル化の促進にも寄与できた。さらに、第1期かめやま人認定者に対して、フォローアップ講座を実施し、中央公民館講座等の講師や行政委員として登用するなどの支援等を行い、地域課題の解決に取り組む人材確保につなげることができた。新図書館を核とした読書活動・市民活動の推進では、図書館については、令和6年度においても、図書館ボランティアとの協働による各種行事をはじめ様々なイベントの開催等により入館者数が27万人を超え、令和6年10月には入館者数50万人を達成するなど、後期基本計画における成果指標に設定した年間利用者数23万人を大きく上回っており、「学びの場からつながる場へ」を基本理念とした知の拠点として、市民交流の場となっている。また、市内小中学校と連携し、各学校から市立図書館の本を借りることができる「ほんくら。(相互貸借)」による読書活動の推進等により、子どもたちの読書習慣の定着につなげることができた。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

中央公民館講座においては、地域のニーズに沿った講座として内容の充実を図るため、地域まちづくり協議会等との連携も行いつつ、オンラインでの受講が可能な各種講座を実施するなど、身近な地域で誰もが学べる環境づくりを進めていく。また、「かめやま人」の活動のさらなる支援のため、中央公民館や行政関連部署・各関係団体との連携を図り、人材の発掘・確保に取り組む。一方、図書館における学習や調査・研究の援助等を行うレファレンスについて、図書館スタッフのスキル向上や情報の蓄積に努めるとともに、地域読書活動拠点の取り組みの推進に向け、地域や福祉施設等との継続的な意見交換を行い、具体的な方向性を整理していく。さらに、健康文化の向上に向け、読書活動自体が持つストレス軽減効果の発揮や、読書会や各種イベントの開催等を通じた世代・分野を超えた交流の場の提供に努める。